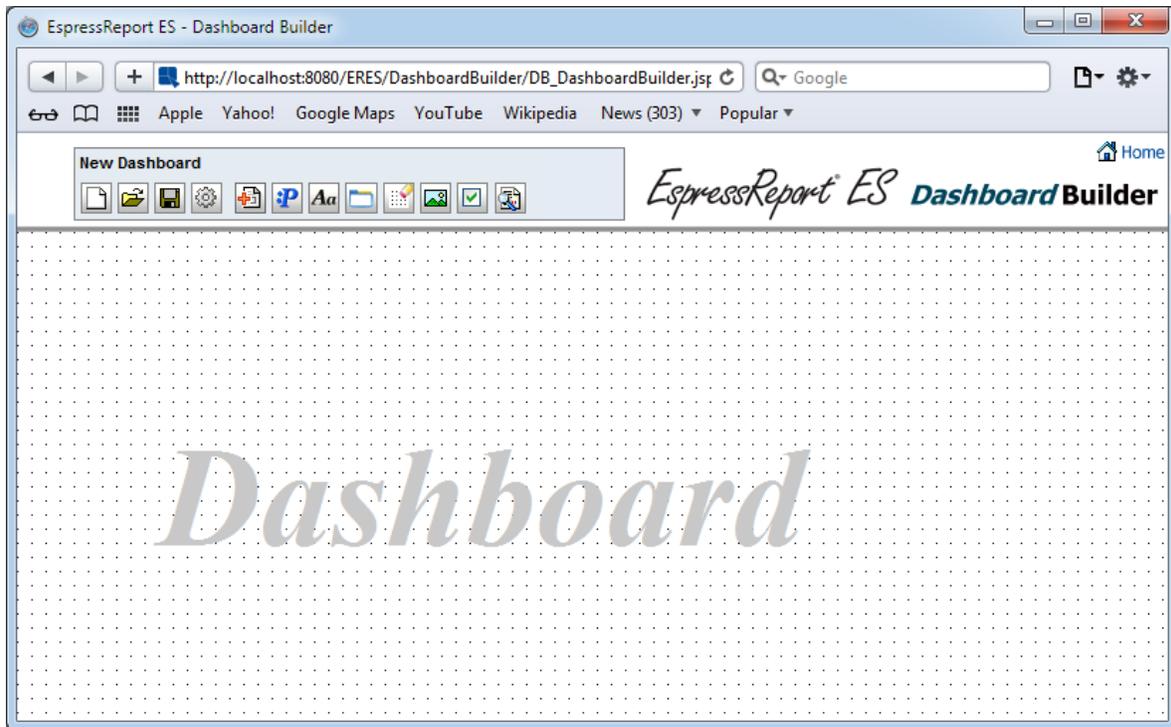


## 実習 47 : ダッシュボードの作成

### ステップ1 : 「Dashboard Builder」の開始

1. ERES のスタートページでプライマリ・ユーザーとしてログインします。
2. 右側パネルで「Launch Dashboard Builder」のリンクをクリックします。「Dashboard Builder」インタフェースに移行し、ダッシュボードを作成するレポートとチャートを使用します。



### ステップ2 : テンプレートの追加

1. 「Add Report/Chart/Map」  ボタンをクリックします。フォルダクリックでフォルダを拡張します。以前の実習で作成されたレポートとチャートが表示されます。
2. “CategorySales”、“ProductSales”、“3DStackColumn”のテンプレートを一つずつクリックし、ダッシュボードに追加します。
3. テンプレートのヘッダーバーへドラッグし、グリッド上にテンプレートを整理します。

### ステップ3 : 共有パラメータの追加

1. 「Shared Parameters」  ボタンをクリックし、「Shared Parameters」ダイアログが開きます。「Add Share」ボタンをクリックしますと、ダイアログが開き、ダッシュボードに追加された全てのチャートのパラメータが表示されます。
2. 各テンプレート“3DStackColumn”、“ProductSales”、“CategorySales”の“StartDate”パラメータを選択し、「Add」ボタンをクリックします(一つずつまたは複数の項目選択で追加可能)。共有パ

ラメータ名として“StartDate”を指定します。「Prompt Name」フィールドに“Start Date:”を入力し、「Ok」ボタンをクリックし保存します。

Shared Parameter Name: StartDate

Available Parameters

- 3DStackColumn - StartDate (Date)
- 3DStackColumn - EndDate (Date)
- ProductSales - Region (String)
- ProductSales - CategoryName (String)
- ProductSales - StartDate (Date)
- ProductSales - EndDate (Date)
- CategorySales - StartDate (Date)
- CategorySales - EndDate (Date)

Selected Parameters

- 3DStackColumn - StartDate (Date)
- ProductSales - StartDate (Date)
- CategorySales - StartDate (Date)

Add >>

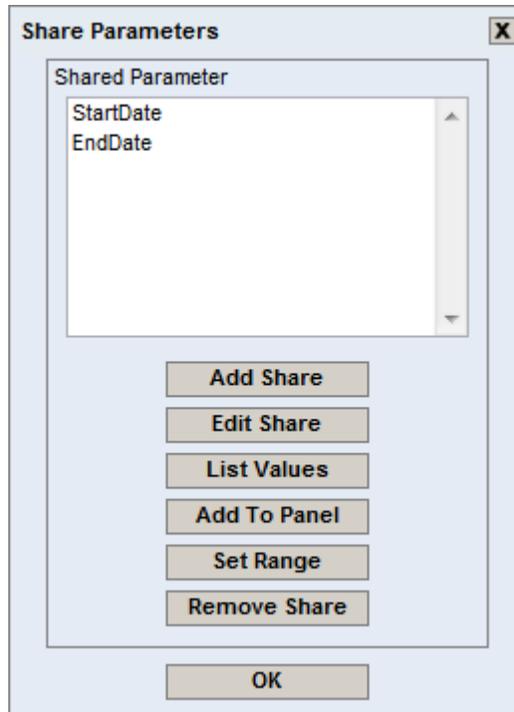
<< Remove

Prompt Name: Start Date:

Default Value: 2002-12-14

Ok Cancel

3. 以前のステップと同じように、その3つのテンプレートの“EndDate”パラメータを追加します。
4. 「Shared Parameters」ダイアログに2つの共有パラメータが表示されます。



#### ステップ 4 : パラメータ範囲の作成

1. 「Shared Parameters」  ボタンをクリックします。(「Shared Parameters」ダイアログが開いていない場合)。
2. “EndDate” と “StartDate” を同時に選択し ( 「CTRL + クリック」 または 「SHIFT + クリック」 ) 、 「Set Range」 ボタンをクリックします。
3. 「Range Name」 フィールドに “DateRange” を入力し、 「Prompt Text」 フィールドに “Select Year:” を指定します。
4. 「Option Name」 フィールドに “2001” を入力し、 “StartDate” パラメータの下の 「Expression」 フィールドに “2001-01-01” を指定します。
5. 2 番目のパラメータ “EndDate” の 「Expression」 フィールドに “2001-12-31” を指定し、 「Add>>」 をクリックします。
6. 「Option Name」 と 2 つの 「Expression」 フィールドに年を 2001 から 2002 に変更し、 「Add>>」 ボタンをクリックします。
7. 以前のステップと同じように、2003 を指定し追加します。

Range Param Attributes

Range Name:  Prompt Text:

**Range Variable Detail**

Option Name:

First Param:

Expression:

Second Param:

Expression:

**Predefined Range Variables**

- This Year
- This Month
- This Week
- This Quarter
- Today
- Yesterday
- Tomorrow
- Year to Date

**Selected Range Variables**

- 2001
- 2002
- 2003

Buttons: Add >>, Copy, << Remove, Up Arrow, Down Arrow

Allow Custom Range Settings

Enable Submit Button

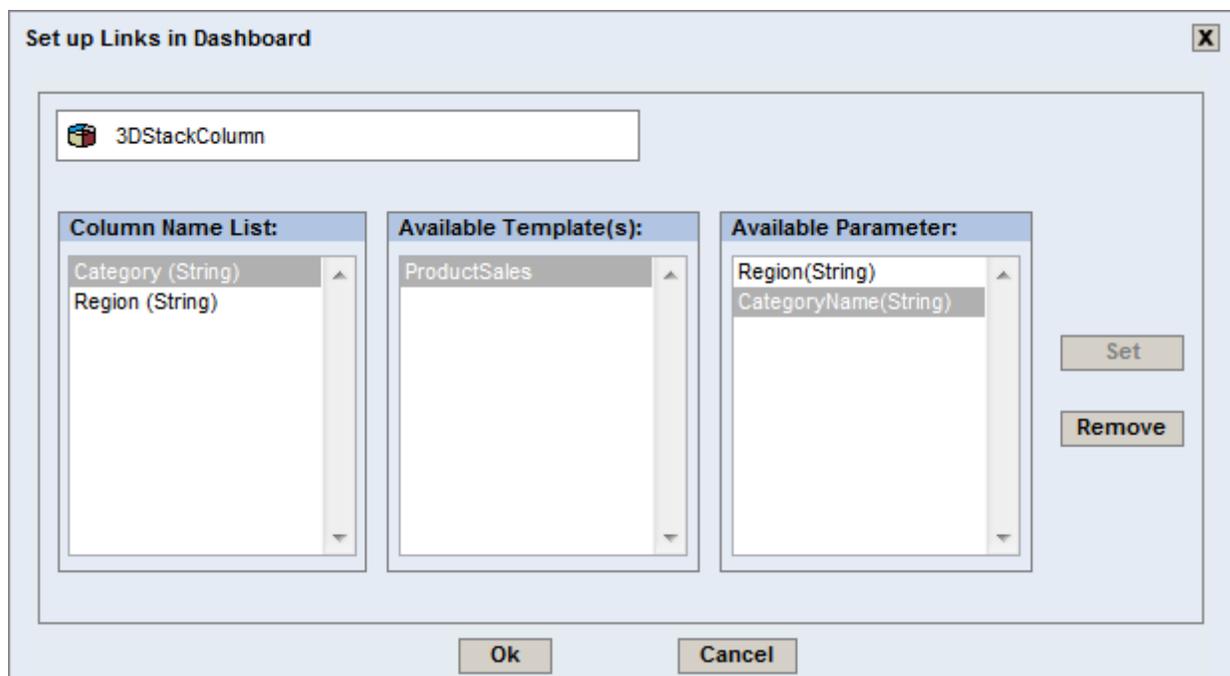
Submit Button Text:

Buttons: Ok, Cancel

- 「Allow Custom Range Settings」のチェックを外します。
- 「Ok」ボタンをクリックし指定したパラメータ範囲を保存します。
- Dashboard Builder ウィンドウでマウスポインター近くに四角が表示されます。ダッシュボード内にクリックしたら、パラメータ範囲パネルが投入されます。

#### ステップ 5 : テンプレートのリンクセットアップ

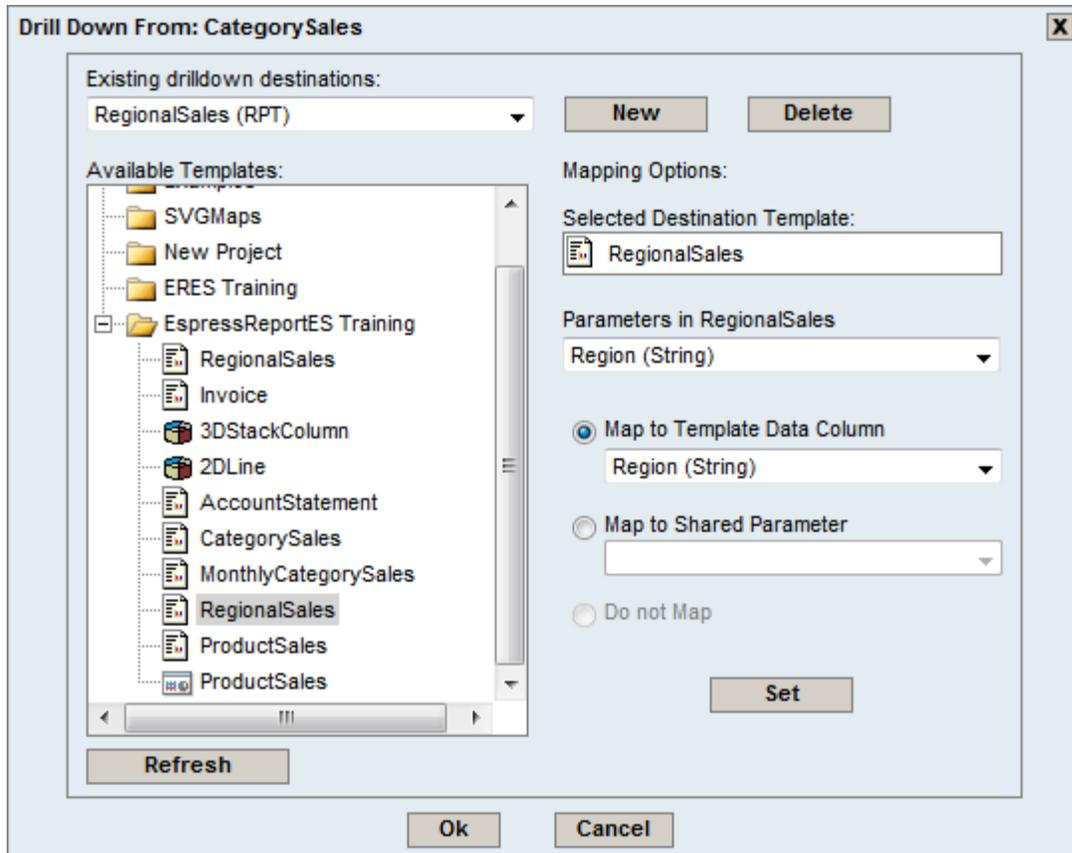
- ダッシュボードに配置された“3DStackColumn”チャートのヘッダーバーに「Add/Modify Link」アイコンをクリックします。
- 「Column Name List」の“Category (String)”を選択します。
- また、「Available Template(s)」の“ProductSales”を選択します。
- 最後に、「Available parameters」の“CategoryName (String)”を選択します。
- 「Set」ボタンをクリックしてから、「Ok」ボタンをクリックします。



6. 同じように、“Region” - “ProductSales” - “Region” の組み合わせでステップ 1～5 を行います。

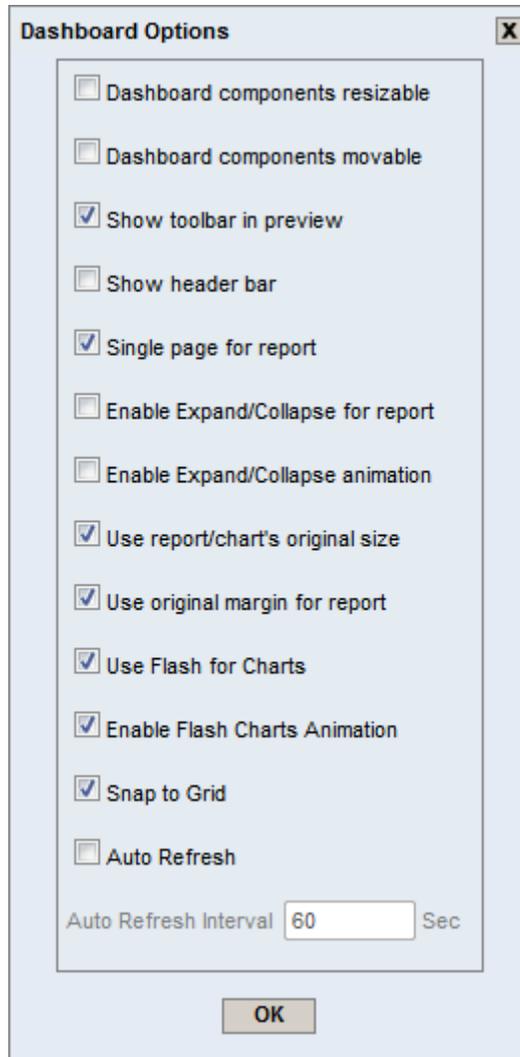
#### ステップ 6 : ドリルダウン (Drill-down) のセットアップ

1. ダッシュボードに配置された “CategorySales” レポートのヘッダーバーの 「Add/Modify DrillDown」  アイコンをクリックします。
2. 「Available Templates」 ツリーリストで該当するプロジェクトをクリックし、“Regional Sales” レポートを選択します。
3. 「Map to Template Data Column」 オプションを選択し、ドロップダウンメニューで “Region (String)” を選択します。
4. 「Set」 ボタンをクリックしてから、「Ok」 ボタンをクリックします。



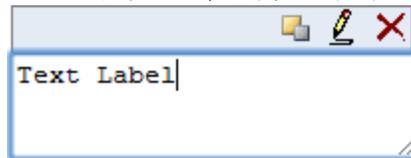
#### ステップ7：ダッシュボードオプションの変更

1. 「Options」  ボタンをクリックします。
2. 「Show header bar」のチェックを外します。
3. 同じように、「User report/chart's original size」と「Use original margin for report」のチェックを外します。
4. 「Use Flash for Charts」と、「Enable Flash Charts Animation」をチェックし、「Ok」ボタンをクリックします。



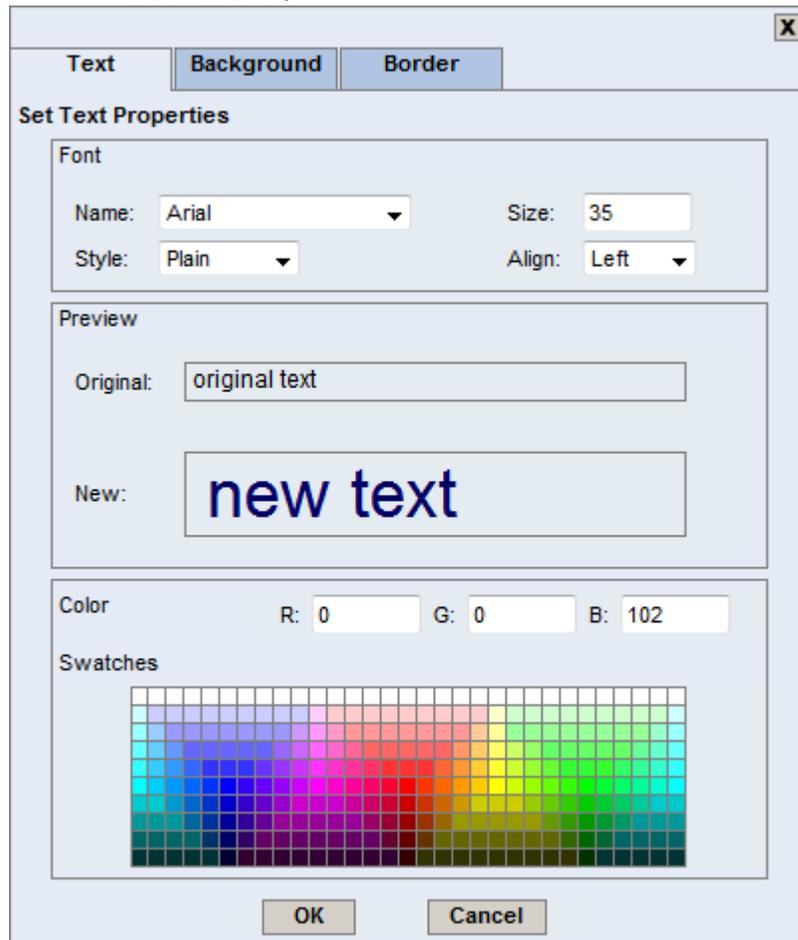
#### ステップ 8 : ラベルの投入

1. 「Insert Label」  ボタンをクリックします。
2. **Dashboard Builder** ウィンドウでマウスポインターの近くに四角が表示されます。レポート内にクリックしますと、ラベルが投入されます。
3. “Text Label”のテキストをダブルクリックし、四角内で文字を編集します。



4. ラベルのテキストを“Product Sales”に変更し、ダッシュボード内でクリックし、テキストを保存します。
5. ラベルのヘッダーバーの「Edit」  アイコンをクリックします。

6. フォントサイズを 35 に変更し、カラー・スウォッチ(Color Swatches)からダッシュボードに適したフォントカラーを選択します。



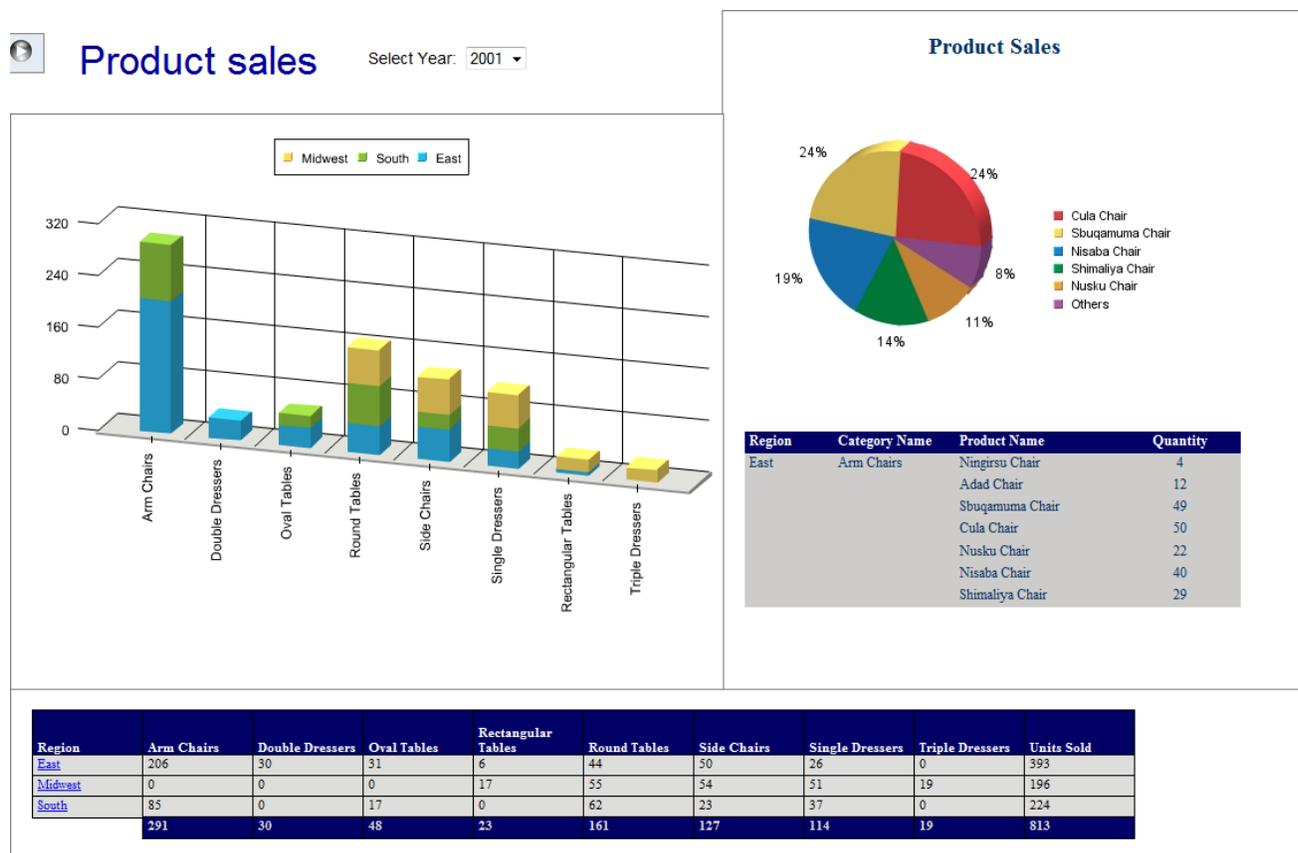
7. 「Border」タブに移行し、ボーダーのスタイルを「none」に指定、「OK」ボタンをクリックします。
8. ラベルの右下隅をドラッグしながらラベルのサイズを変更します。

#### ステップ 9 : チューニング

1. パラメータ範囲パネルに移行し、ヘッダーバーの「Modify Panel Attributes」アイコンをクリックします。
2. 「Border」タブに移行し、ボーダーのスタイルを「none」に指定、「Ok」ボタンをクリックします。
3. 各オブジェクトのヘッダーバーをドラッグし、ダッシュボードのテンプレートを再整理します。

#### ステップ 10 : ダッシュボードのプレビュー

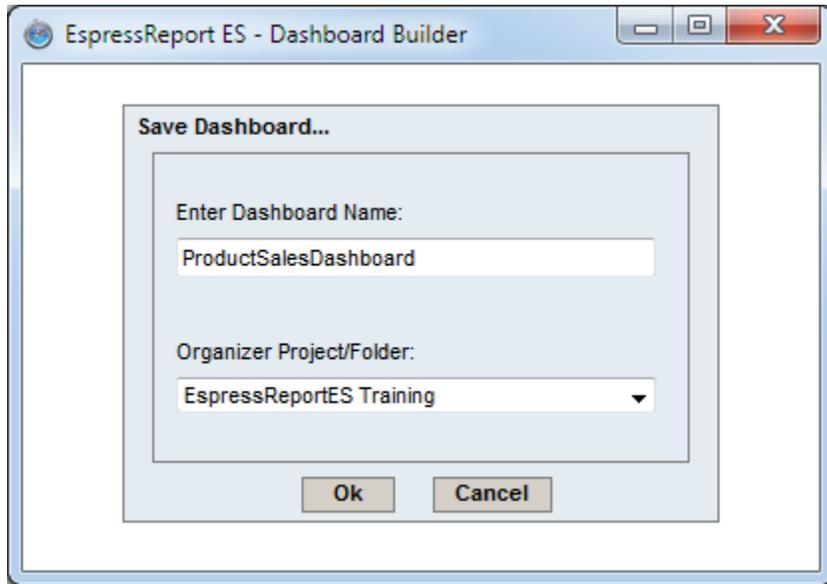
1. 「Preview」  ボタンをクリックします。
2. 新しいウィンドウが開き、ダッシュボードが表示されます。



3. “3DStackColumn” チャートでカラムの一部（セグメント）を選択すると、“ProductSales”レポートの表示が変更され、選択した”Category”と”Region”の該当するデータが詳細レポートに反映されます。以前にセットアップしたテンプレートにより、この操作が行えます。
4. “CategorySales” のクロスタブ(Cross-tab)レポートで該当する”Region”の項目を選択すると、新しいウィンドウで選択した項目の該当する詳細レポートが表示されます。以前にセットアップしたドリルダウン(Drill-down)レポートにより、この操作が行えます。
5. 最後に、パラメータ範囲パネル（「Select Year」フィールド）で該当する年を選択します。全てのテンプレートが共有パラメータを利用している為、全てのダッシュボードのテンプレートがリロードされます。

### Step 1 1: ダッシュボードの保存

1. プレビューウィンドウを閉じ、Dashboard Builder ウィンドウに戻ります。「Save」  ボタンをクリックします。
2. ダッシュボード名として“ProductSalesDashboard” を指定します。
3. 「Organizer Project/Folder」メニューから該当するプロジェクトを選択します。



4. 「Ok」 ボタンをクリックし保存します。